



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2017年4月12日

報道関係各位

北海道の水辺の環境保全を「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインが応援



「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」



2017年 支援団体決定&キックオフミーティング開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行)は、「2017 年北海道 e-水プロジェクト キックオフミーティング」を、4月14日(金)に開催いたします。

「北海道e-水プロジェクト」は、2009年11月、北海道と当社との間で締結した「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り次世代へと引き継いでいくことを目的とし、北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の三者協働で取り組むプロジェクトで、当社が販売する「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部を(公財)北海道環境財団に寄付し、道内各地域で水辺の環境保全活動に取り組む団体および流域ネットワークの活動を支援するものです。

2017年で8回目を迎える本プロジェクトは、3月24日に開催した選考会による厳正な審査の結果、下記の9団体を支援団体として採択しました。

【2017年 支援団体】(五十音順、詳細は次頁:別表1)

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ① 網走川流域の会(網走市) | ⑥ 後志地域生物多様性協議会(黒松内町) |
| ② 石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク(札幌市) | ⑦ 尻別川の未来を考えるオビラメの会(ニセコ町) |
| ③ NPO 法人丸瀬布昆虫同好会(遠軽町) | ⑧ 北見北斗高等学校サイエンスクラブ |
| ④ KODOMOラムサル in 鶴居村実行委員会(鶴居村) | グローバルアクションプロジェクト(北見市) |
| ⑤ 札幌市立北辰中学校科学部(札幌市) | ⑨ UWクリーンレイク洞爺湖(洞爺湖町) |

つきましては、採択された9団体が本年度の活動内容等について発表し、情報を共有するためのキックオフミーティングを下記の通り開催いたしますので、お忙しい中とは存じますが取材賜りたく、ご案内申し上げます。

■2017年 北海道e-水プロジェクト キックオフミーティング

日 時：2017年4月14日(金) 15:00～18:00

場 所：北海道コカ・コーラボトリング(株)本社2階会議室(札幌市清田区清田1条1丁目2-1)

参加者：助成対象となった9団体の代表者(詳細は次頁:別表1)

主 催：北海道、(公財)北海道環境財団、北海道コカ・コーラボトリング(株)



北海道の環境を守る あなたの1本

「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインによる、北海道の水辺の環境保全に向けた寄付額は、累計1億円を突破しました。

※北海道e-水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた累計寄付額(2008年～2016年)

【別表1】

2017年 北海道e-水プロジェクト 助成団体（五十音順、敬称略）

区分	団体名／事業名	活動地域 (団体所在地)	事業概要(予定)
流域ネットワーク	① 網走川流域の会 人・産業・自然が共生する網走川流域づくり	網走川流域 (網走市)	1)人・産業・自然が共生する流域社会の構築を目的とした、各地区各産業の次世代事業 2)網走川流域の豊かな自然環境や産業などの課題を学習する流域総合学習プログラムの実施
	② 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク 石狩川流域湿地環境啓発事業	石狩川中下流域 (札幌市)	1)パンフレット、映像、各湿地のキャラクター作成、 2)未保存湿地の調査、探索会、スゲによるしめ縄づくりワークショップ
	③ NPO法人丸瀬布昆虫同好会 武利川再生プロジェクト	丸瀬布武利川流域 (遠軽町)	1)武利川の自然に関する学習会、2)武利川の水生昆虫調査、3)ウチダザリガニの駆除、 4)水生昆虫の標本づくり、5)調査のまとめ、6)町民、キャンパーへの周知活動、7)学校への還元、 8)研修
	④ KODOMOラムサールin鶴居村実行委員会 釧路湿原の体験学習プログラム	釧路湿原および集水域 (鶴居村)	1)地域の小中学生を対象とした湿原学習および湿原保全活動、 2)全国のラムサール条約登録湿地の小中学生を対象とするKODOMOラムサールin鶴居村の実施、 3)地域住民向けの活動発表会
単団体	⑤ 札幌市立北辰中学校科学部 北海道の海洋環境と有孔虫	北海道西南部沿岸 (札幌市)	北海道西南部沿岸における有孔虫の調査、研究の発表
	⑥ 後志地域生物多様性協議会 環境DNAを用いた北限域のアユ資源と外来生物の分布調査	後志管内各河川他 (黒松内町)	1)後志管内の代表的な河川から、北限域のアユとカワヤツメの存在を確認するためのDNA検査、 2)アユの分布状況や生活史に関して、本活動の成果も含めた啓発パンフレットの作成・配布、 3)環境DNA利活用に関する勉強会実施
	⑦ 尻別川の未来を考えるオビラメの会 絶滅危惧種イトウ尻別川個体群のレスキュー事業	尻別川流域 (ニセコ町)	1)尻別川流域のイトウの自然繁殖が確認されている地域での「見まもり隊」活動の実施、 2)イトウ飼育施設での、飼養と人工採卵・人工授精
	⑧ 北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローバルアクションプロジェクト 常呂川流域住民の水環境保全意識の向上をめざす「水ミーティング」の実施	常呂川水系流域 (北見市)	1)常呂川・無加川の水質・水生生物調査、 2)「常呂川流域 水ミーティング」の開催
	⑨ UWグリーンレイク洞爺湖 水中ドローン(ROV)による外来生物の観察生息調査及びザリガニサミット開催	洞爺湖等 (洞爺湖町)	1)水中ドローンを使った洞爺湖の湖底環境観察会の実施、 2)外来種問題の専門家を招聘したワークショップの開催

- 対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- 対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。
 <例> 水質浄化、水辺の清掃活動、環境学習会や研修会、水源の森づくり、在来種の回復や外来種駆除 など
- 対象となる期間：2017年4月1日～2017年11月30日に実施される事業



(昨年度の採択団体活動風景)

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当：小野

Tel：011-888-2091

■ 参考 1 活動の源である「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン

- 「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインは 1993 年に発売して以来 20 年以上、北海道の多くのお客様に親しまれているコーヒーのロングセラー商品です。原材料には、北海道産の乳・砂糖を使用し、北海道の地産地消を応援しております。
- パッケージデザインは、北海道の代表的な自然風景を採用し、ご愛飲いただいている皆様から北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりするというかたちで、売上の一部を公益財団法人北海道環境財団へ寄付し、それを活用して北海道との連携のもと道内各地域の水辺の環境保全に取り組む団体と協働し、水辺の観察会や清掃活動などに取り組んでいます。
- 2009 年より開始された寄付は 2016 年に累計 1 億円を突破しました。

■ 参考 2 北海道 e－水（イーミズ）プロジェクトとは

- 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道 e－水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道 e-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。
- 2010 年から始まったこの「北海道 e-水プロジェクト」はこれまで本年度採択団体を含めると 8 年間で延べ 83 の団体を支援（※別図参照）活動の輪は全道一円に広がっています。

■ 参考 3 累計寄付金額

2008～2015 年 寄付額実績	92,894,238 円
2016 年 寄付額	8,809,728 円

寄付額累計 101,703,966 円 内) 北海道 e-水プロジェクト 77,325,771 円

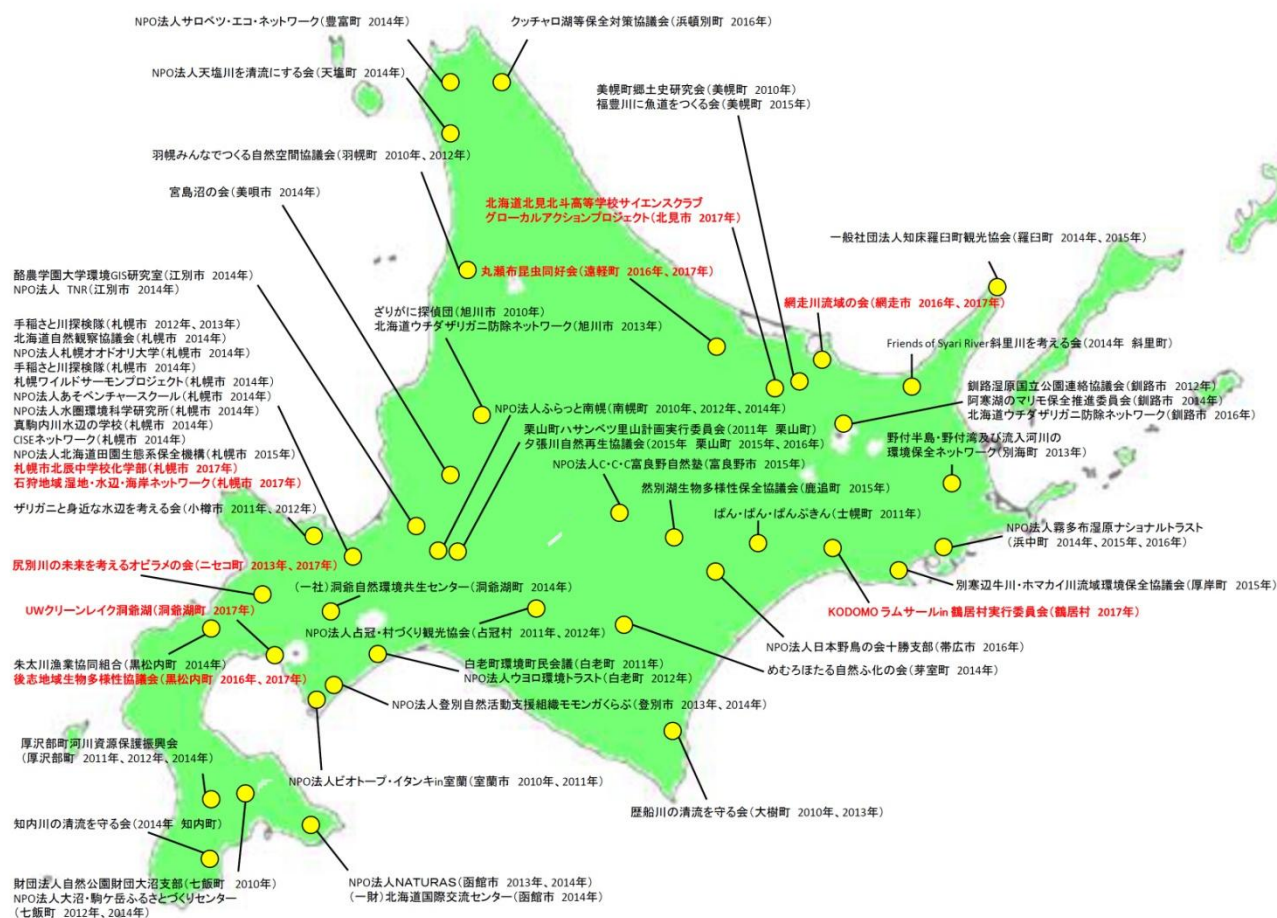
■ 参考 4 「第 19 回 日本水大賞」において審査部会特別賞を受賞 ※2017 年 7 月 11 日(火)表彰式

- 日本水大賞委員会(名誉総裁:秋篠宮殿下、委員長:毛利 衛〈日本科学未来館館長〉)、国土交通省が主催
- 1998 年 6 月、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本を目指して、水循環の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し、活動を支援するために創設
- 国内で水環境における全ての団体、個人の研究活動を対象にした唯一の賞



■ 参考 5 北海道e-水（イ-ミズ）プロジェクト、歴代活動団体一覧

【北海道e-水プロジェクト歴代活動団体一覧】



(延べ 83 団体、赤太字は 2017 年度採択団体)